

### 4.3. 市民ワークショップ

#### 4.3.1. 目的

本プランの策定に当たり、まちなかの将来像へ市民意見を反映するため、ワークショップを実施しました。

#### 4.3.2. 開催概要

回数	日時	テーマ	参加人数	場所
第1回	令和元年8月21日(水) 14:00~16:30	まちなかの現状・課題、まちなかのあり方・将来像の検討	13名 (商店会、市内商業者、市役所等)	龍ヶ崎市商工会会議室
第2回	令和元年10月2日(水) 19:00~20:30	取組の方向性	3名 (商店会、市内商業者、商工会)	
第3回	令和元年11月28日(木) 19:30~21:00	取組の深堀と具体化	16名 (上町商友会、米町商友会、下町商友会、砂町商友会、商工会)	

#### 4.3.3. ワークショップの成果

##### (1) 第1回

日時	令和元年8月21日(水) 14:00~16:30
場所	龍ヶ崎市商工会 会議室
参加者	13名(商店会、市内商業者、市役所等)
内容(テーマ)	まちなかの現状・課題 まちなかのあり方・将来像の検討
成果概要	<b>1. 「まちなかの現状・課題」についての主な意見</b> 【店・商店街・街並み】 <ul style="list-style-type: none"><li>古くから続くお店や個性ある建物などが好印象となっている一方で、活気のなさやわかりづらさ・入りづらさ、日常の買い物や飲食などの利便性が不足している</li><li>面的な活用を進めるため、路地から引っ込んでいるところをどう扱うか考えていく必要がある</li><li>空家バンクを活用していくべき</li></ul> 【交通・道路・駅】 <ul style="list-style-type: none"><li>終バスが早いなどの公共交通の利便性の低さが課題</li><li>自動車利用の多さに対して駐車場が少なく、歩道も狭い</li></ul> 【人・歩行者】 <ul style="list-style-type: none"><li>商店街においてはお年寄りの方を多く見かける一方で、学校が多くあるのにまちなかで若者を見かけない</li><li>将来の高齢者の移動手段の確保が必要</li><li>さらなる少子化の懸念</li></ul>

【歴史・文化】

- ・ 般若院の桜や八坂神社など、歴史を感じるスポットや街並み、昔から続く歴史のある祭りがある

【交流・遊び】

- ・ 交流できる場所が少ない
- ・ 特に、子育て世代が親子ともに利用できる場所（子供を預けて親同士の交流ができるなど）がない

**2. 「まちのあり方・将来像」に必要なもの・ことについての意見**

【店・商店街】

- ・ 若い人が集まれるお店や、24 時間利用できるコンビニなど利便性の高い店舗が必要
- ・ 居住者のニーズに合わせた、利便性の高いお店があるまちなかを目指すべき
- ・ 個性的なお店も多いので、店を紹介するパンフレットなどがあるとよい

【街並み】

- ・ 歴史的な街並みを生かしたイベントや、歴史散策ができる案内板などがあるとよい
- ・ 閉まっているシャッターを生かした“インスタ映え”するスポット

【交通・道路・駅】

- ・ レンタサイクルやカーシェアなどのシェアモビリティ、Uber のような使いやすいタクシーなどの移動手段がほしい
- ・ わかりやすく停めやすい駐車場が必要
- ・ 駅前に鉄道の待ち時間などに使えるスペースがあるとよい

【交流・遊び】

- ・ 高齢者と子供など多世代が交流できる場所や、保育施設を併設したカフェ、コミュニティスペースがほしい
- ・ 雨の日にも子供が遊べる場所や、学生が勉強のできるスペースがあるとよい

【イベント・PR・魅力向上】

- ・ 個性的な店が多いので、店どうしの連携・コラボや、既存のお店を外の人にもPR できるようなイベントを実施したい

【その他】

- ・ 車を運転できない高齢者のサポートも必要

**3. 「まちのあり方・将来像」についての主な意見**

- ・ 移動しやすい手段があるとよい
- ・ 利便性の高いお店があるとよい
- ・ 同じ世代の人や多世代などが交流できるスペースがあるとよい
- ・ 子供が遊べる・学べる＋親の交流できるスペースがあるとよい
- ・ 他地域でも PR できるような魅力あるイベントがあるとよい
- ・ どんなお店があるのか、情報が発信されているとよい
- ・ 竜ヶ崎駅を拠点とした活用があるとよい

(2) 第2回

<b>日時</b>	令和元年 10 月 2 日 (水) 19:00~20:30
<b>場所</b>	龍ヶ崎市商工会 会議室
<b>参加者</b>	3 名 (商店会、市内商業者、商工会)
<b>内容 (テーマ)</b>	取組の方向性
<b>成果概要</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ まちなか再生に向けてまずは筑波銀行跡地の利活用を進めるべき</li><li>・ 米町の空地から取組、次いで砂町の跡地へと進めるとよいと思う</li><li>・ 跡地の活用について、市と商店会で何度も協議してきたが進んでいる様子がない、意見した内容はどうなっているのか</li><li>・ 商店が点になりつつあるので、点をつなぐ取組が重要との認識だ</li><li>・ 普段は静かなまちなかだが、お祭りの日はコロッセオフェスよりもすごいにぎわいになる</li><li>・ 「ママ質向上委員会」は精力的に活動しており、龍ヶ崎市街地でも取組可能性がある</li><li>・ 銀行跡地など、使える広場があるなら使ってみたい</li></ul>

(3) 第3回

<b>日時</b>	令和元年 11 月 28 日 (木) 19:30~21:00
<b>場所</b>	龍ヶ崎市商工会 会議室
<b>参加者</b>	16 名 (上町商友会、米町商友会、下町商友会、砂町商友会、商工会)
<b>内容 (テーマ)</b>	取組の深堀と具体化
<b>成果概要</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駐車場問題や、店舗併設住宅の活用の難しさなどは昔からある課題である</li><li>・ これまでのアイデアが実現しなかった状況も踏まえ、まずは実際になにか取組を起こすことが重要である</li><li>・ それぞれの場所で空いている建物や土地を、市との連携でまとめて活用できる状態にしたい</li><li>・ 市ではなく主催者や利用者による、SNS 等での影響力のある情報発信が必要</li><li>・ 龍ヶ崎の良い特徴である昭和レトロな要素や、SL を活用した取組ができるとよい</li><li>・ 景観条例の策定等によって、まちなみ景観を生かせるとよい</li><li>・ 商店会の街灯が古くなっているのでどうにかしてほしい</li><li>・ 空き建物は店舗部分が開いていても、一部は利用されている住宅になっているため、一棟がまるまる空かないと貸せない状況となっている</li><li>・ にぎわい広場のような場所がまちなかにもっとあるとよい</li><li>・ 駅周辺で公共機能が集約されていて、そこに行けば全てが完結するような商業施設があるとよい</li><li>・ 流経大生の寮を整備できるとよい</li><li>・ クラウドファンディングを活用するとよい</li><li>・ ショッピングセンターに公的機関や待合施設を入れて、そこに行けば全て済むような商業施設ができるとよい</li></ul>